

設立式典特大号



# スポーツ吹矢

題字：青柳 清

## Contents

- 1面 設立記念式典 4面 地域支部新設さらに加速!!
- 2面 師範・準師範任命 5面 段位級位試験スタート
- 3面 サムライ・なでしこ列伝 6面 「スポーツ吹矢物語」

◎一般社団法人 銀座スポーツ吹矢倶楽部 会報・第3号  
 ◎頒価 100円(送料別)  
 【本部】〒104-0061 東京都中央区銀座3-8-12 大朝日ビル  
 TEL: 03-3564-8248 FAX: 03-5159-8671  
 【E-mail】 info@sports-fukiya.jp  
 【URL】 http://www.sports-fukiya.jp  
 【発行所】 一般社団法人 銀座スポーツ吹矢倶楽部  
 【発行人】 青柳 芳英

# もっと楽しく! もっと自由に! 国民的スポーツめざす!!



一般社団法人 銀座スポーツ吹矢倶楽部 設立記念式典

## 『一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部』設立記念式典開催

スポーツ吹矢が思い出の地で復活した! 『一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部』(以下倶楽部)の「設立記念式典」が9月30日、東京・銀座の紙ハルプ会館(銀座フエニックスプラザ)で開催されました。青柳芳英代表理事は、20数年前、スポーツ吹矢の創始者が団体を立ち上げた会場で「会員様のご意見・ご提案を大切にスポーツ吹矢を国民的スポーツに育てる」と力強く「スポーツ吹矢」の復興を宣言しました。設立記念式典には他団体の幹部も出席、青柳代表理事は他の吹矢団体と吹矢の実力日本一を決める交流大会の計画も発表しました。式典では師範のお披露目なども行われ倶楽部の勢いを証明する「出陣式」となりました。

設立記念式典は新型コロナウイルス感染症予防のため都道府県をまたぐ移動は避け行われ東京都内の支部の会員ら50人が出席しました。

青柳芳英代表理事は、最初の挨拶で、国民的スポーツを目指して夢半ばで倒れた創始者の夢を引き継ぐために「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」を立ち上げた理由を改めて説明しました。そして「会員の皆様のご意見・ご提案を大切にスポーツ吹矢の普及に命を燃やす覚悟です。皆様のご協力をお願いします」と呼びかけました。

### 他団体と吹矢の実力日本一決める

また青柳代表理事は「国民的スポーツにするために他の団体に呼びかけて吹矢の日本一を決める大会も開催したい」と

### 代表理事・理事



青柳芳英代表理事 皆川和久理事 山下哲司理事

### ご来賓と会員代表



日刊スポーツ新聞社 金子航販売部部長 一般社団法人健康吹矢協会・山岸美穂副理事 初台アイアイ支部・岡田洋一支部長

### 倶楽部の門出祝う吹き初め式



### 一般社団法人 健康吹矢協会 交流戦を歓迎!!

来賓として出席した一般社団法人健康吹矢協会の山岸美穂副理事(一般社団法人日本マグネット吹矢協会理事)は「親子2代でスポーツ吹矢の発展にご尽力されて敬意を表します。人生100年時代を見据え、もっと楽しく、もっと自由にたくさんの人々を笑顔にさせてほしい」と祝辞を述べ、さらに「交流戦は大歓迎、吹矢を国民的スポーツにするために一緒に頑張りましょう」と青柳代表理事に応援を寄せました。また一般社団法人日本マグネット吹矢協会の藤森常昭理事長からも祝電が寄せられました。

宣言しました。

またマスコミから来賓として出席した日刊スポーツ新聞社の金子航販売部部長は「取材を通してスポーツ吹矢の普及に協力したい」と支援を約束してくれました。

師範、准師範の任命式、県総支部長の任命式のと吹き初め式が行われ、会員らが勢いよく風船を割って倶楽部の門出を祝いました。

会員代表挨拶では東京都の「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部 初台アイアイ支部」の岡田洋一支部長が「楽しくなければ吹矢じゃない、というスポーツ吹矢の原点に全員で倶楽部に参加した。会員を増やす努力を続けて倶楽部を発展させます」と感動的な約束をしてくれました。

会場には岐阜の「可児御嵩支部」「岐阜中津川支部」「やまがた21翡翠支部」「みちのく白河支部」「ふれあい群馬支部」「群馬箕郷支部」「取手かわせみ支部」「桜川スマイル支部」「見附健康吹矢支部」「越谷Gahya支部」「越谷大袋支部」「さいたまさくらそう支部」「栗山あじさい支部」「長野みなみ支部」ら全国の支部から多数の祝電やメッセージが寄せられ、「スポーツ吹矢」の復興を確かなものにしてくれました。

# 師範に赤堀みどりさんと國井良幾さん 准師範に鈴木義敬さんと上南木勇さん

「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」に初めて二人の師範が誕生しました。

赤堀さん(東京)はスポーツ吹矢歴15年、創始者の青柳清氏のもとで要職を務めスポーツ吹矢の普及に貢献されました。

赤堀師範は「吹矢を楽しいスポーツにして私たちに健康と何よりも生き甲斐を与えてくれた創始者の夢はスポーツ吹矢を生涯スポーツの一つにすることでした。この創始者の夢を引き継ぐと師範の大役をお引き受けしました。全国の皆さんにスポーツ吹矢の楽しさと魅力を訴えて創始者の思いに込めたい」と力強く抱負を語っています。

また國井さん(山形)は五段の上級公認指導員、審判員として東北地区で長年にわたりスポーツ吹矢の普及・啓蒙に尽力されました。このほど「やまがた21翡翠支部」を立ち上げ、これまでの実績と卓越した腕前、指導力で師範に任命されました。

## 「師範」のお二人



國井良幾 師範



赤堀みどり 師範

## 代表理事から 会員の皆様へ

## 「スポーツ吹矢」普及に命燃やす

ここ東京・銀座の「紙パルプ会館」は「スポーツ吹矢」を創始した私の父、青柳清が20数年前、吹矢団体を立ち上げた会場で、感慨はひとしおです。

「スポーツ吹矢」の創始者、青柳清は株式会社ダイセイコーの創業者で「スポーツ吹矢」を国民的スポーツに育てようと会社の資金と人材を投入して普及に努めました。老若男女誰にでも楽しめて健康になれる「スポーツ吹矢」は時代の求めにぴったりの魅力あるスポーツであると確信していたからです。しかし、自ら普及のために全国を行脚しているときに倒れました。夢は半ばでした。

私たちが「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」を立ち上げたのはそんな創始者の夢を引き継ぐためです。

「スポーツ吹矢」を国民的スポーツに育てるためには五つの条件が必要です。

- ◎一つ目は、もっと楽しく、もっと自由にすること。
- ◎二つ目は、会員の皆様を第一に考えること。
- ◎三つ目は、会員の皆様のご意見・ご提案を大切にすること。
- ◎四つ目は、費用の垣根を極力低くすること。

そして◎五つ目は、「安心」「安全」な用具を継続して提供できることです。

「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」は、この五つの条件をしっかりと守って運営することを、お約束させていただきます。

本日の「設立記念式典」には、来賓として吹矢の他団体の方もお招きしました。

自分たちだけで門戸を閉ざしては到底、国民的スポーツはめざせないからです。

私たちは他団体の皆様との交流の自由も認めます。そして将来は、他団体の皆様と一緒に真の吹矢の実力日本一を競いあう大会も計画しています。

創始者の口癖は「燃えてこそ命」でした。

私も「スポーツ吹矢」を国民的スポーツに育てるために命を燃やす覚悟です。全国の会員の皆様、「スポーツ吹矢」愛好者の皆様、どうぞ、お力をお貸しください。



一般社団法人 銀座スポーツ吹矢倶楽部  
代表理事

青柳 芳英

## 「准師範」の皆さま



上南木勇 五段  
上級公認指導員



鈴木義敬 五段  
上級公認指導員



清水錠治 五段  
上級公認指導員



下野和朗 六段  
上級公認指導員

國井師範は「誰にも楽しめて健康になれるスポーツ吹矢は必ず生涯スポーツ、国民的スポーツとして飛躍的に発展することを確信してスポーツ吹矢の普及に取り組む」と誓ってくれました。

一方、新たに准師範に任命されたのは東京都の鈴木義敬さん(板橋区中央支部長)と鹿児島県の上南木勇さん(鹿屋中央支部長)のお二人。共に五段の上級公認指導員で腕前、指導力、普及力に優れ、准師範に任命されました。鈴木准師範は「心技練磨のもと精進してスポーツ吹矢を発展させたい」、上南木准師範は「先代の青柳清先生に激励いただいたこ

とを思い出し准師範の役に恥じないよう頑張ります」と張り切っています。倶楽部の准師範は埼玉県の下野和朗六段、岐阜県の清水錠治五段に続いて合計4人となりました。師範、准師範からは「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」の運営に對し様々なアドバイスをいただきます。また師範、准師範はこれからも認定を進めま

## 晴れの設立式典に お祝いのお花届く



左より  
有限会社小山商店 ギフトムーン 代表取締役 小山貴久様  
株式会社丸鈴 代表取締役社長 鈴木健司様  
株式会社スカイトレーディングジャパン 代表取締役 大原康輔様  
日本フィルム工業株式会社 代表取締役社長 花谷寛様



左より  
株式会社ダイセイコー 代表取締役社長 青柳芳英様  
株式会社アイナック 代表取締役社長 長田豊年様  
株式会社ディップス 代表取締役 土井健一様  
有限会社扶桑舎 代表取締役 吉村浩男様



ADEKAケミカルサプライ株式会社 代表取締役社長 兄部眞二様



株式会社グラファイトデザイン 代表取締役社長 山田拓郎様



セントルカ眼科歯科クリニック 院長 岡田安二様



株式会社メディカルフランシス 代表取締役 岡田孝子様

# 「軽い筒では物足りない」 そんなご要望にお応えして500gの重量筒が再登場!! グラスファイバー1本筒500

18,000円(税込)

グラスファイバー製の筒です。  
現在販売している筒の中で最重量の筒です。  
安定感抜群の吹き心地をお楽しみいただけます。



商品のお申込み お問い合わせは  
**ビックサクセス**

■URL:<https://www.big-success.jp/>  
■E-mail:[info@big-success.jp](mailto:info@big-success.jp)

03-3527-2104  
(お問い合わせ) 平日9:00~17:30

FAX 03-3527-2105  
(24時間受付)

全国各地域で活躍する「スポーツ吹矢」アスリートを『「スポーツ吹矢」サムライ列伝』(男性)『「スポーツ吹矢」なでしこ列伝』(女性)としてご紹介させていただきます。どうぞ地域で話題になっている「スポーツ吹矢」アスリートの皆さんをご推薦ください。☎03(6206)2673【担当・堀井】

# スポーツ吹矢 なでしこ列伝



## 10本連続7点の腕前 楽しむことが上達の秘訣 赤堀みどり 師範 (東京)

的に向かい、基本動作に入ると端正な顔立ちに集中力がみなぎる。と、次の瞬間、力強い腹式呼吸で飛び出した矢が的の真中へ吸い込まれる。

赤堀師範は広島県福山市の出身。中学の時ソフトボールで強豪高校3校がスカウトを競った女性アスリート。化粧品会社を経て結婚して上京、東京・大田区でスポーツ吹矢と出会う。「子供の遊び」とバカにして始めたが、やってみると奥が深い。「上達の極意は、どれだけ精神を統一できるか、そして楽しむこと」が持論。この持論をもって練習の時、10本連続で7点に的中させたことも。

いつも笑顔絶やさず。これは創始者の教えの一つだ。「まず体験してもらう、そして自分の持っている技術を惜しまず提供すれば人はついてくる」と普及にも意欲を燃やす。頼もしい師範が誕生した。

# スポーツ吹矢 サムライ列伝



## まずは「吹く」こと。それが上達の極意!! 國井良幾 師範 (山形)

人間の感性を信じ、的の中心を両目で見て一気に吹く。それは、とまり木から水中の魚を100発100中で仕留める翡翠のようだ。

生まれも育ちも山形県中山町。17年前「これなら特別な運動能力がなくても楽しめそう」とスポーツ吹矢を体験、その奥深い魅力にのめり込んだ。

上達の極意は「初心者も経験者も『まず吹く』こと」という。

國井師範は、自身が経験したスポーツ吹矢人生の喜怒哀楽を川柳に纏めた「川柳憂さ晴らし」の108句の中でもこう詠んでいる。

「やる気なしやらねば出ない 吹くやる気」と。

基本動作を大切に健康のためのスポーツ吹矢そのものに、健康長寿のための「心技練磨」があり、極意があるとも語る。

そして、みちのくの達人は今日もスポーツ吹矢の普及に奔走している。生涯スポーツ、国民的スポーツとして飛躍的に発展することを確信して。

## NHKでスポーツ吹矢が取り上げられました

会報2号でもご紹介した石川県加賀市の蘇梁館<sup>そりょうかん</sup>で、今年8月から行われている「スポーツ吹矢」体験会(平日の火曜日と水曜日)の様子が9月2日(水)、NHK金沢放送局の夕方の人気番組「ニュースかがのとイブニング」(総合月~金曜日午後6:10~)で「スポーツ吹矢の魅力」と題して放送されました。

また9月11日(金)にはNHK金沢放送局の夕方の人気番組「じわもんラジオ」(NHKラジオ第一放送 毎週金曜日午後5:00~)でも「スポーツ吹矢」が取り上げられました。

蘇梁館の体験会には奈良女子大学の学生も参加、「とても楽しかった」と老若男女が楽しめるスポーツ吹矢の魅力を語ってくれました。

○スポーツ吹矢体験に関してのお問い合わせは  
石川県加賀市熊坂町ハ28-3 蘇梁館内  
たぶんかねっと加賀  
電話:0761-72-5350



## (((「スポーツ吹矢」発進! 発信!! )))



## 「フジサンケイビジネスアイ」で「スポーツ吹矢」が紹介されました!!

フジサンケイグループが発行する国内最有力経済紙『フジサンケイビジネスアイ』2020年9月10日(木)の「中小企業こそ日本の力! 大手町経営者クラブ」の記事の中で、スポーツ吹矢と青柳芳英代表理事が取り上げられました。

倶楽部主催

# 段位級位試験に多数の受験者 六段合格者も

東京都心で段位級位試験  
7人が挑戦

「スポーツ吹矢」でコロナを吹き飛ばせ!! コロナウイルスで延期されていた「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」主催の段位級位試験が9月1日、東京・中央区立総合スポーツセンターで開催され、六段の合格者が誕生するなど盛り上がりました。

この日の挑戦者は7人、準師範の下野和朗六段(上級公認指導員)と公認指導員の鈴木紘一五段(目白高南吹矢会)の二人が試験官を務めました。

試験会場の同センター体育館は日ごろの心技練磨の成果を試そうと意気込む挑戦者で緊張感にあふれました。

この結果、六段一段、二級の3人が合格しました。

3人が挑戦した六段において合格した山崎英昭さん(東京都中央区)は「楽しむことを忘れずに合格できてうれしい。倶楽部の六段として恥ずかしくないよう精進して、さらに上の段位をめざしたい」と喜びを語っていました。

倶楽部主催の段位級位試験は毎月2回開催の予定です。



左から下野和朗六段、今回六段に合格した山崎英昭さん、鈴木紘一五段、田口貴事務局長

緊張に満ちあふれた体育館内には的を射る快音が響き渡りました。

「初年度会費無料キャンペーン」  
12月末まで延長!!

## 「10月には公認指導員試験開催」

10月6日  
「公認指導員試験」開催



学科試験と実技試験

「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」主催の「2020年度公認指導員資格認定試験」が10月6日(火)、東京都中央区立総合スポーツセンター3階会議室/小体育館で開催されました。

11月には  
「上級公認指導員試験」

11月17日(火)には「2020年度上級公認指導員資格認定試験」も同センターで開催されます。

全国各地で  
「公認指導員試験」開催も

「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」では会員様、全国各地支部のご要望に沿うため「公認指導員資格認定試験」を11月から全国各地で実施していく予定です。

日程は順次、HPなどでご案内させていただきます。

お問い合わせは「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」事務局(田口、堀井、蛭田)

☎03(6206)2673(平日9:00~17:00)

## 段位・級位認定者

認定された皆様!  
おめでとうございます!!

2020年7月2日~  
2020年9月30日現在

段位認定者も徐々に増えはじめ、ますます活気づいてきました。「段位・級位試験」をさらに活性化していきましょう。  
新たに以下の方が段位・級位試験に合格されました。(五十音順/敬称略)

### 段位認定者

【六段位】  
山崎英昭/山本光男

【五段位】  
赤木道子/上甫木みえ子/下田利則/鈴木津紀子/鈴木俊彦/中野幸一

【四段位】  
堀井達矢/松下義藏

【三段位】  
下野敦子/中山茂通

【二段位】  
青木正和/柴田純一/長澤欽一/浪瀬ユウ子/西尾和博/蛭田かおり/福岡美知子/古川昌子/松本富子/森田くに子/吉原和子

【初段位】  
稲熊麻祐子/大図文裕/川井正人/小林照子/佐藤賢一/千村久美子/竹下正人/棚田千鶴/中村毅

### 級位認定者

【一級位】  
荒井和彦/大関うた/大津せつ子/角谷篤/川野正利/北島信子/志村正子/鈴木由美子/鷹野晴幸/高橋一芳/田口貴/千村久美子/飛田信義/森井弘/四家シツエ

【二級位】  
大熊裕彰/北原陽一/倉石隆治/榊原日出男/佐々木好美/鈴木喜世美/千田英代/高坂義信/高野順子/田口圭子/畑山恵子

二級位認定  
長野みなみ支部 高野順子さん  
「昨年末にスポーツ吹矢と出会い、今回二級に合格することができました。「楽しくなければ吹矢じゃない!!」「もっと楽しく!もっと自由に!」の言葉通り、趣向を凝らした指導のもと、次の昇級試験合格を目指し、楽しみながら和気あいあいと練習を重ねて

## 鹿児島県総支部長に 高崎信正さん

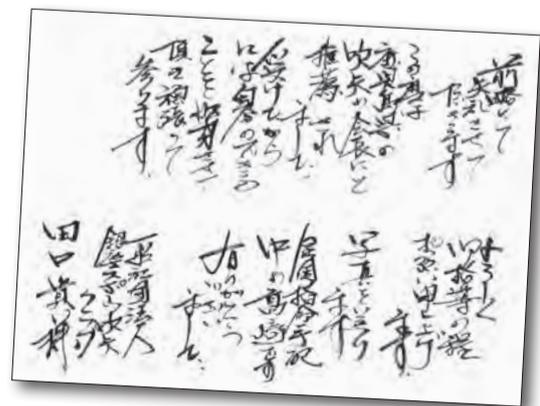


鹿児島県の県総支部長に高崎信正さん(「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部南大隅根占支部長」)が就任しました。

高崎さんは五段の上級公認指導員、鹿児島県で地域支部を設立しました。技術力・指導力だけでなく普及力にも優れ、県総支部長に推されました。

高崎県総支部長は「地元の根占だけでなく鹿児島県をスポーツ吹矢で元気にしたい」と張り切っています。

県総支部長は、島根県の高根俊夫県総支部長に続いて2人目となります。



県総支部長就任後、事務局に寄せられたご本人からのお礼状

# 地域支部の新設

# さらには加速!!

地域支部の新設はコロナ禍でも加速、全国に広がっています。

群馬県ではこれまでに5支部が立ち上がるなど

47都道府県で地域支部同士の交流が可能などどんどん増えています。

今回もその中の一部、10支部の支部長の「スポーツ吹矢」への熱い思いを紹介します。

## 福島

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
花火の里浅川支部  
矢内圭子支部長(二段位)

### 健康に寄与する「スポーツ吹矢」で 楽しく会員拡大する

自身が貫いた弓道。「健康のため、弓道ができなくても、老いても」という思いで地域の皆様と親睦を高めるために弓道会の皆様と一緒に『花火の里浅川支部』を立ち上げました。月2回、公民館で2時間、年に1回、先生の指導をお願いしています。「肺活量が良くなった!」と喜ばれる方もおり、支部メンバーの皆様と一緒に「スポーツ吹矢」を広めながら楽しい時間を過ごしています。今後は交流会などの開催を目指しています。



## 新潟

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
見附健幸吹矢支部  
齋藤榮作支部長

### 「よき友、よきライバル」 メンバー全員の段位資格を目指す

中高年齢者の健康・生きがい・仲間づくり活動を行う団体のメンバーが健康に良い「スポーツ吹矢」を楽しみたいと1年前に『見附健幸吹矢支部』を発足。会員6~8人で月2回のペースで練習会を開催しています。現在、級・段位の保持者がいなく、皆「よき友、よきライバル」として「和気あいあい」の中で、「思いやり」の精神を持って競いながら練習に励んでいます。今後は支部メンバー全員の段位資格を目指します。



## 茨城

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
桜川スマイル支部  
櫻井操支部長(四段位・公認指導員)

### 「吹矢を楽しく」をモットーに 各支部との交流も

スポーツ吹矢創業者・青柳清氏の精神に合致し、スポーツ吹矢を楽しむこと、健康の増進、技術の向上、会員同士の親睦を図ること等を目的として『桜川スマイル支部』を設立しました。毎週水曜日に練習や大会を行ないながら、何よりも「吹矢を楽しく」をモットーに活動しています。これからもスポーツ吹矢を知らない一般の方に広報活動をするのが責務。また各支部の皆様方と交流の場を設けていきたいです。



## 群馬

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
群馬箕郷支部  
相原幹男支部長(二段位)

### 仲良く元気に和気あいあい 吹矢が健康長寿の秘訣

ふれあい群馬支部の杉田安啓支部長の任を受け、規模が拡大した箕輪中央教室を分割し『群馬箕郷支部』を立ち上げました。現在も新型コロナウイルスの影響は続いており、活動は自粛中ですが、通常は月曜日の午前中に例会を実施しています。支部メンバーの多くは高齢のため、仲良く元気に和気あいあいと健康維持のためにスポーツ吹矢を実践しています。健康長寿のためにスポーツ吹矢を続けていきたいです。



## 群馬

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
箕輪城支部  
福島幹雄支部長(二段位)

### シニアの“生涯スポーツ” スポーツ吹矢を「より楽しく」

コロナ禍にあり、この7月頃からようやく練習などのスタートを切れました。『箕輪城支部』は現在13人で活動。女性が7割で、スポーツ吹矢を「より楽しく」をモットーに気楽に楽しくシニアの“生涯スポーツ”として実践しています。今後は会員の更なる親睦を深め、メンバーの拡大を目指しながら、メンバー全員が『楽しくなければ吹矢じゃない』を合言葉に、和やかでアットホームな支部づくりを目指します。



## 埼玉

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
さいたまさくらそう支部  
谷川和夫支部長(六段位)

### 健康・仲間・生きがい作りで 生き生きと楽しくスポーツ吹矢

健康で元気な仲間づくりを目的に『さいたまさくらそう支部』を設立しました。練習活動は月4回程度。基本動作をしっかりと実践しながら、特に吹矢式呼吸法を指導し「スポーツ吹矢は楽しい、元気になった!」という声も。今後は会員の更なる親睦を深め、健康で元気な仲間作り、生き生きとした楽しい雰囲気作りの支部を目指し、さらなる会員拡大を目指しています。



## 東京

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
板橋区中央支部  
鈴木義敬支部長(准師範・五段位・上級公認指導員)

### 「心技練磨」の精神で スポーツ吹矢の輪を拡大

創業者である故青柳清氏の理念に賛同してスポーツ吹矢の素晴らしさを知っていただき、普及させたいという思いから『板橋区中央支部』を設立しました。3箇所の練習場を設けて、土曜日・日曜日を中心に月6回練習しています。スポーツ吹矢の楽しさ・素晴らしさをたくさんの人に知っていただくため「心技練磨」のもと精進し、普及活動に専念し、さらに生涯スポーツとしてスポーツ吹矢の仲間を増やしていきます。



## 香川

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
長寿スポーツ吹矢高松支部  
中井保博支部長(四段位 公認指導員)

### 楽しいが第一条件 パソコンを駆使し吹矢を楽しむ

地域のパソコンクラブ仲間とスポーツ吹矢を通じてさらなる親睦を図るために『長寿スポーツ吹矢高松支部』を設立しました。今はコロナ感染予防のため月2回の練習日に3時間、8~10mの距離で集中練習しています。点数データはパソコンで保存し、各自いつでも見られるようにしています。仲間同士で和気あいあいとルールを遵守しながらも所作は厳しく言わないで、7点が3本も出れば全員で拍手喝采。楽しいが第一条件です。



## 鹿児島

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部  
鹿屋中央支部  
上南木勇支部長(准師範・五段位・上級公認指導員)

### 吹矢こそ人生のパートナー 目標、支部会員 100人

スポーツ吹矢と出会い、初代青柳清理事長から「鹿児島県を代表する吹矢師になってください」と激励された時から、吹矢こそ私の第2のパートナーと考え『鹿屋中央支部』を設立しました。月4回の活動以外にも生涯学習を2か所で実施しています。メンバーも皆明るく、年に1回花見も実施しています。今後の目標は支部会員を100人!!そして東京見学を兼ねて全国大会に全員で参加したいです。





写真は、平成10年4月22日の「スポーツ吹矢」の設立総会＝株式会社ダイセイコー創立30周年記念祝賀会誌から

「健康になりたい」と中国の気功から吹矢を思い付いた株式会社ダイセイコー創業者の青柳清は、知人の医師のアドバイスで、これをスポーツとして広めることにしました。老若男女、誰にでも楽しめて健康になれる吹矢なら「国民的スポーツ」に発展する可能性がある、と考えたからです。

### 記者会見で吹矢を発表!!

そこで青柳清は、どうしたら「吹矢」を全国に告知できるか、を考えました。

その結果、思い付いたのが「記者会見」を開いて発表することでした。

それは、とてもインパクトのある方法でした。

吹矢なら楽しく健康になれるだけでなく仲間作りにも最適で「これからの時代にマッチして社会のためになるから」とひらめいたのです。

平成10年(1998年)1月、青柳清は東京商工会議所で「日本吹矢連盟設立準備



## 第2回 「世界に発信された設立総会」

委員会」の記者発表会を行いました。

公言した以上は実行しなければなりません。

まず青柳清は旧来から危険なイメージのある吹矢を、ただの「吹矢」から「スポーツ吹矢」と改めました。

同時に医師らのアドバイスを受けて基本動作、競技ルールを決め、さらにダイセイコーに研究開発させて安心・安全な用具も製作しました。

同年4月22日、「スポーツ吹矢」の団体の「設立総会」が東京・銀座の真ん中の紙パルプ会館(銀座フェニックスプラザ)で開催されました。

青柳清の狙い通り、記者会見以降、マスコミの注目を受けて会員は700人を超えるほどになっていました。

この設立総会で青柳清は「スポーツ吹矢で世の中をもっと明るくし日本をもっと健康的な国にしていきたい。日本はもろろん世界にも大きく広がっていきますことを心から願っています」とあいさつしました。

特筆されるのはマスコミの関心の高さでした。

テレビはNHKをはじめ8社、ラジオは9社、新聞は朝日新聞をはじめ7社、雑誌は当時の週刊読売など3誌が取り上げ、その報道、記事の回数は40回を超えたほどでした。

報道は国内に限りませんでした。

NHKは衛星放送を通して当日の様相を22か国語で紹介してくれました。

青柳清は「これだけ注目されるのは社会の関心が高いから。腹式呼吸が手軽にできて健康になれる。このようなスポーツはこれまで存在しなかった。私自身の健康のために始めたスポーツだが私の関心は皆さんの関心ごとでもあったのだ」とつぶやきました。

しかし、それからの普及活動は容易ではありませんでした。(以下次号)

## 吹矢ドクター 下野六段のスポーツ吹矢 免許皆伝 その②

「一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部」の准師範・下野和朗六段(上級公認指導員)が「スポーツ吹矢」上達のためのポイントをアドバイスする「免許皆伝」の2回目は《腹式呼吸の会得法》です。YouTube 動画と併せて実践すると、さらにわかりやすく効果的です!!

### ■腹式呼吸の会得法

今回は、スポーツ吹矢における腹式呼吸について述べていきます。

腹式呼吸という、お腹で呼吸をするものだと考える方がいますが、そうではありません。腹式呼吸とは、お腹を中心に行う呼吸であり、お腹を膨らますことにより横隔膜を使って、肺を縦に伸ばす呼吸です。

腹式呼吸を会得するには、次の3つのポイントを意識することが重要です。まず、①横隔膜を上下させる意識をもつこと。②お腹をへこませながら口から息を吐き切ること。③お腹を前に突き出して膨らませながら鼻から息を吸うことです。

では、腹式呼吸を実践してみましょう。まず、お腹に手を当て、お腹を大きくへこませるようにして、ゆっくりと口から大きく息を吐いていきます。吐き切ったとこ

ろで、今度はお腹を前に突き出すように膨らまして、ゆっくりと鼻から息を吸っていきます。これを何回か繰り返します。

慣れてきましたら、息をゆっくり吐いて吸ってを2回ほど繰り返し、最後は一気に息を吐き切るようにします。その最後の一気に息を短く吐く動作こそが、スポーツ吹矢における腹式呼吸の会得となります。

### ■次回のテーマ

今回は、腹式呼吸をベースにした基本動作の神髄について述べていきたいと思います。

**YouTube** 下野六段のスポーツ吹矢「免許皆伝」と連動して動画もご参考にしてください!!

## 「こちら事務局です！」

山口詩織さん



北海道札幌市の出身です。倶楽部では主に会員の方からの電話をお受けし、社内の事務作業を行っています。お菓子作りが好きで、友人にも美味しいと評判でした。健康に良いとされ、楽しいスポーツ吹矢を広めていきたいです。

荒井忍さん



東京都八王子子出身です。趣味は読書で通勤時やお昼休憩時は読書タイムです。倶楽部ではお客様対応を全般に行なっています。会員の皆様とともにスポーツ吹矢の普及・振興をサポートしていきますので、今後ともよろしくお願いたします。

## 「スポーツ吹矢」編集後記

■ようやく秋らしいすがすがしい季節がやってきました。倶楽部の設立記念式典もコロナの影響はありましたが無事終えることができ、倶楽部を支えて下さる皆様へは感謝の言葉しかありません。創始者の青柳清も喜んでいることと思います。すべての皆様、本当にありがとうございました。

■各地で段位級位試験も実施され、本部では公認指導員試験も実施されました。また来月11月には本部主催の大会も予定していて、今月中旬には概要を発表させていただきます。公認指導員試験、各地方大会につきましては、これより各地で実施できるよう合わせ進めていきます。

■例年とはずいぶん異なるスポーツの秋ですが、決して無理せず、健康に留意して楽しんでまいりましょう!

一般社団法人 銀座スポーツ吹矢倶楽部  
事務局長 田口 貴  
「HOT LINE」(03-6206-2673)